

【2025年度 キャリア委員会 事業計画・自己評価・事業報告】

○目的 兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

○委員校 委員長校：関西学院大学 副委員長校：関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学
 委員校：芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算（千円）
課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上 [期待される効果] 1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。 2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。	1. 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施			
	1-1「兵庫県」 大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上	各年参加者数 450名以上 [内訳] 学生数400名以上 教職員数50名以上	3,938 (受託事業収入)
	1-2 県内企業への就職率向上促進プログラム	②参加者数：2500名以上/5年		0
	1-3「尼崎市」 大学生等向けオープンカンパニー（インターンシップ等推進事業）	[内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年		1,339 (受託事業収入)
	2 県内企業・団体等の魅力を情報発信	情報公開企業・団体数：120社以上	企業情報の追加掲載 2種類以上	0
課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進 [期待される効果] 3. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。 4. 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。	2. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施			
	1-1①ひょうご留学生インターンシップ	①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上	各年参加留学生数 500名以上	1,600
	1-1②「尼崎市」 留学生向けインターンシップ（インターンシップ等推進事業）	②参加留学生数：2500名以上/5年		1,411 (受託事業収入)
	1-2「兵庫県」 外国人留学生採用ワンストップ支援事業	①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上	各年参加留学生数 50名以上	6,291 (受託事業収入)
	②参加留学生数：250名以上/5年			

【2025年度 キャリア委員会（①取組1-1）】「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			報告（3月記載）				
<p>【兵庫県総務部教育課受託事業 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】</p> <p>【趣旨】大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを活用し、大学キャリアセンター職員やキャリア教育に携わる教員の県内企業への理解を促進する。</p> <p>(1)大学キャリアセンター職員、大学教員の県内企業への理解促進 「県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会」</p> <p>大学キャリアセンター職員等を対象に県内企業合同の企業説明会を開催するとともに、学生と企業の有効なマッチング法等について意見交換する。</p> <p>【実施回数】2回以上（年）</p> <p>【目標参加者数】〔大学〕約40校（30校×1回、10校×1回） 〔企業〕約80企業（65社×1回、15社×1回）</p> <p>【実施予定】キャリア×企業 ①2025年8月30日 ライフロングキャリア（仮称）に関するセミナー及び情報交換会 ②2025年9月20日 留学生採用に関する意見交換会 ③2025年10月8日 企業と大学との意見交換会（協業：神戸商工会議所） ④2025年12月頃 経営者・人事採用担当者との意見交換会</p> <p>(2)学生に対する情報発信力強化 「県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会」 県内企業経営者等が講師となり、先進的・実践的な自社の取組や他社に誇れる社風など、リアルな情報を直接講話し、中小企業への理解を深めるとともに、実際の体験に基づいた仕事のやりがいなどについて本音の意見交換を行うことで、学生の地元意識の高揚や県内企業への就職意欲の向上に繋げる。</p> <p>【実施回数】2回以上（年）</p> <p>【目標参加者数】〔学生〕約120人 〔企業〕約20企業</p> <p>【実施予定】 ①2025年12月：経営者・人事の面接大作戦 ②2025年12月：合同模擬グループディスカッション ③2025年12月：兵庫県内企業とのネットワーキング ④2026年 3月：ひょうご就職サミット</p> <p>※その他、加盟校、地元企業からの間で課題等を共有し、解決に向けたプログラムを実施予定。 例：公務員試験対策用の合同模擬グループディスカッション、面接大作戦の試験の実施</p>			<p>【兵庫県総務部教育課受託事業 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】</p> <p>(1)大学キャリアセンター職員、大学教員の県内企業への理解促進 「県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会」</p> <p>【活動内容】 ①2025年8月30日 産・学・官でつなぐ ライフロングキャリア共創セッション及び情報交換会 参加企業数：16社26名 参加大学数：16校22名 参加行政数：2団体4名 ②2025年9月20日 留学生採用に関する意見交換会 参加企業数：19社29名 参加大学数：9校9名 参加行政数：1行政1団体4名 ③2025年10月8日 企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE（協業：神戸商工会議所） 参加企業数：115社458名 参加大学・短大・専門学校数：19校26名（加盟校14校21名・非加盟校5校5名） ④2026年2月16日 大学キャリアと企業の情報交換・懇親会（予定）</p> <p>(2)学生に対する情報発信力強化 「県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会」</p> <p>【活動（予定）内容】 ①2025年11月29日 グループディスカッション 参加企業数：15社22名 参加大学教職員数：12校12名 参加行政数：3行政5名 参加学生数：21校49名 ②2025年11月29日 グループ面接体験セミナーを実施 参加企業数：15社22名 参加大学教職員数：12校12名 参加行政数：3行政5名 参加学生数：20校38名 ③2025年11月29日 学生と企業・自治体との交流会 参加企業数：15社22名 参加大学教職員数：12校12名 参加行政数：3行政5名 参加学生数：20校38名 ※①、②、③は、一般企業と公務員コースの2コースで実施する。 ④2025年12月20日 選考を通過するES・面接の本質とは?!【面接実践編】 ⑤2026年 3月：ひょうご就職サミット</p> <p>【自己評価】 「ライフロングキャリア共創セッション」では、大学や企業が対応に苦慮している“グレーゾーン学生”について、その実態や支援方法を学ぶ機会が設けられた。これにより、産・学・官がこの課題を共通認識し、連携の必要性と可能性に対する機運が醸成された。現状に即した新たなテーマを取り上げることができた点も意義深く、キャリア委員会としては初の試みであったが、参加者の関心の高さからも、テーマ設定の妥当性がうかがえた。学生向けの取組に関しては、キャリア委員の声を元に、例年実施している模擬グループディスカッション・面接において、一般企業に加え、公務員（地方行政職）コースを新設。当コースに関しては、学生の申し込みも目標に到達しており、コンソの強みを活かし、より多くの学生に効果を及ぼす取り組みであると考えている。引き続き、必要とされる取り組みを見極め臨機応変に継続して実施していく必要があると考える。</p>			<p>【兵庫県総務部教育課受託事業 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】</p> <p>(1)大学キャリアセンター職員、大学教員の県内企業への理解促進 「県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会」</p> <p>【活動内容】 ①2025年8月30日 産・学・官でつなぐ ライフロングキャリア共創セッション及び情報交換会 [参加]企業数：16社26名, 大学数：16校22名, 行政数：2団体4名 ②2025年9月20日 留学生採用に関する意見交換会 [参加]企業数：19社29名, 大学数：9校9名, 行政数：1行政1団体4名 ③2025年10月8日 企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE [参加]企業数：115社458名（協業：神戸商工会議所） [参加]大学・短大・専門学校数：19校26名（加盟校14校21名・非加盟校5校5名） ④2025年11月29日 企業・自治体・大学との交流会 [参加]企業数：15社22名, 大学数：14校13名, 行政数：3行政5名 ⑤2026年2月16日 大学キャリアと人事担当者等との情報交換会・懇親会 [参加]企業・団体数：63社・3団体100名, 大学数：28校38名（加盟校24校33名、非加盟校4校5名）、行政数：8自治体17名, 学生数（スタッフ）：1名</p> <p>(2)学生に対する情報発信力強化 「県内企業経営者・企業若手社員等による取組紹介と意見交換会」</p> <p>【活動内容】 ①2025年11月29日 グループディスカッション [参加]企業数：15社22名, 大学教職員数：13校12名, 行政数：3行政5名, 学生数：21校49名 ②2025年11月29日 グループ面接体験セミナーを実施 [参加]企業数：15社22名, 大学教職員数：13校12名, 行政数：3行政5名, 学生数：20校38名 ③2025年11月29日 学生と企業・自治体との交流会 [参加]企業数：15社22名, 大学教職員数：13校12名, 行政数：3行政5名, 学生数：20校38名 ※①、②、③は、一般企業と公務員コースの2コースで実施する。 ④2025年12月20日 選考を通過するES・面接の本質とは?!【面接実践編】 [参加]学生数：3校8名, 大学教職員数：7校6名 ⑤2025年10月9日 ひょうご就職サミット2026 [参加]学生数：7校15名（加盟校6校14名、非加盟校1校1名）、企業数：8社8名 ⑥2026年1月17日(土)ひょうごWEB企業研究フェア [参加]学生数：44校100名（加盟校13校55名、非加盟校31校45名）、企業数：40社40名</p> <p>【報告】 学生の就職活動は早期化及び多様化しており、就活支援のプログラム実施時期を見直し、例年1月実施の「就活生向けのグループディスカッションとグループ面接体験セミナー」を2か月前倒した。また多様化にも対応するため、県内3自治体に協力の元、地方公務員コースを新設し、参加学生、自治体からは好評であった。教職員向けの取組は、産官学が一同に会した「ライフロングキャリア共創セッション」と「大学キャリアと人事担当者等との情報交換会・懇親会」を実施した。情報交換会では、企業の採用状況や学生を取り巻く就職状況などについてテーマ別のグループ形式で意見交換を行った。産官学のそれぞれの立場からの多角的な知見を共有したことで、地域定着に向けた課題意識が明確になり、各関係機関にとって今後の連携の一助となった。</p>				
<p>達成目標に対する実績(取組1-1, 2, 3合算) 【達成目標】①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 ②参加者数：2500名以上/5年 [内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年</p>			<p>①96% ②参加者数2,468名：学生1,860名・教職員608名/4年 (取組1-1, 2, 3合算)</p>			<p>①96% ②参加者数2,669名：学生2,004名・教職員665名/4年 (取組1-1, 2, 3合算)</p>				
<p>活動指標に対する実績(取組1-1, 2, 3合算) 【活動指標】①各年参加者数450名以上 [内訳]学生数400名以上 教職員数50名以上</p>			<p>参加者数335名：学生242名・教職員93名(取組1-1, 2, 3合算) [参加者数218名：学生125名・教職員93名 (取組1-1のみ)]</p>			<p>参加者数536名：学生386名・教職員150名(取組1-1, 2, 3合算) [参加者数399名：学生249名・教職員150名 (取組1-1のみ)]</p>				
自己評価基準：対到達目標※			3			-				
自己評価基準：対継続性※			3			-				
事業収支	収入	3,937,000円	支出	2,080,238円	収支	1,857,812円	支出	3,937,000円	収支	0円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

大学や企業が共通課題としている『グレーゾーン学生』の支援方法を学ぶ機会を提供し、産学官連携で取組む機運を醸成したことや、「就活向けグループディスカッション&グループ面接体験セミナー」における地方公務員コース新設するなど、多様化する学生、企業のニーズに柔軟に対応したことは高く評価する。一方で、学生の確保が困難という課題が顕在化し、キャリアイベントにおける企画内容の検討、SNS等を活用した広報戦略の見直しにより、多様な学生が参加しやすい取り組みへと改善する必要がある。今後も早期化、多様化する学生のキャリア志向に対して、産官学がより内容の濃い情報交換しながら、学生のキャリア支援に取り組まれることを期待する。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 キャリア委員会 (①取組1-2)】 県内企業への就職率向上促進プログラム

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)				
<p>【県内企業への就職率向上促進プログラム】</p> <p>【趣旨】 兵庫県総務部教育課の受託事業以外で、就職活動の急激な変化や多様化に柔軟に対応することを目的とした事業の枠組。加盟校と地元企業が連携し、現場の課題やニーズを共有して、若者の地元定着や地域の活性化に向けたキャリア支援プログラムの実施を目指す。また、この事業枠での取り組みを受託事業として展開し、継続実施に繋げることも視野に入れる。事業予算は、前頁取組1-1教育課の新たな取り組みに繋げることが出来るものは、確認の上、取組1-1の予算から拠出する。</p> <p>【取組予定案】</p> <p>(1)バーチャル合説 (2)兵庫県労政福祉課主催の県内企業合説やバスツアー等の共催 (3)兵庫労働局との事業共催</p>			<p>【県内企業への就職率向上促進プログラム】</p> <p>【活動内容】 (予定)</p> <p>(1)2025年12月4日(木)5日(金) ひょうごJOBフェア2025 共催：兵庫労働局 参加学生数：95名 (2)2026年2月13日(金)大学生企業見学バスツアー 主催：尼崎経営者協会等</p> <p>【自己評価】 就活の通年化、多様化に伴い学生の就職活動が分散している現状、一人でも多くの学生の状況を把握し、今後のキャリア委員会事業に活かす。連携先を増やし、チャンネルを広げることで、多様な学生の県内定着に柔軟に対応し、支援が必要な学生の取りこぼし策を講じることは、コンソとして意義のある取組と考える。</p>			<p>【県内企業への就職率向上促進プログラム】</p> <p>【活動内容】 (予定)</p> <p>(1)2025年12月4日(木)5日(金) ひょうごJOBフェア2025 主催：兵庫労働局等 参加学生数：95名 (2)2026年2月13日(金)大学生企業見学バスツアー 主催：尼崎経営者協会等 参加学生数：20名</p> <p>【報告】 就職活動の多様化により、学生の動向が分散・複雑化している。これに対し、個々の活動状況を精緻に把握し、そのデータを次期キャリア委員会事業に反映させる体制を整える。また、外部団体や企業等との連携をさらに拡充し、接点を広げることで、多様な属性を持つ学生の「県内定着」に向けた柔軟な支援を加速させる。支援から漏れてしまう学生を出さないよう対策を講じることは、コンソとして取り組むべき大切な役割だと考える。</p>				
<p>達成目標に対する実績(取組1-1, 2, 3合算)</p> <p>【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 ②参加者数：2500名以上/5年 [内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年</p>			<p>①96% ②参加者数2,468名：学生1,860名・教職員608名/4年 (取組1-1, 2, 3合算)</p>			<p>①96% ②参加者数2,669名：学生2,004名・教職員665名/4年 (取組1-1, 2, 3合算)</p>				
<p>活動指標に対する実績(取組1-1, 2, 3合算)</p> <p>【活動指標】 ①各年参加者数450名以上 [内訳]学生数400名以上 教職員数50名以上</p>			<p>参加者数335名：学生242名・教職員93名(取組1-1, 2, 3合算) [参加者数95名：学生95名・教職員0名(取組1-2のみ)]</p>			<p>参加者数536名：学生386名・教職員150名(取組1-1, 2, 3合算) [参加者数115名：学生115名・教職員0名(取組1-2のみ)]</p>				
自己評価基準：対到達目標※			3			—				
自己評価基準：対継続性※			3			—				
事業収支	収入	0円	支出	0円	収支	0円	支出	0円	収支	0円

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)

今年度新たに共催した、12月開催の「ひょうごJOBフェア2025」では、4年生や既卒生が参加者の大半を占めており、これらの層の就職支援等、多様な就職を支援する必要性が新たに認識できたことは評価できる。引続き、就職活動の早期化・多様化に伴い学生が分散している現状に対し、連携先増加やチャンネル拡大を意識して取り組み、多くの学生と企業が出会う場を創出し、県内定着へと繋げるための取り組みを創意工夫しながら実施することを期待する。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 キャリア委員会 (①取組1-3)】 「尼崎市」大学生等向けオープンカンパニー(インターンシップ等推進事業)

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)				
<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 大学生等向けオープンカンパニー(インターンシップ等推進事業)】</p> <p>【趣旨】大学生等を対象に、市内企業の魅力を発信し、さらに体感できる機会を提供することで、若者の社会人基礎力を育成するとともに、市内企業の事業活動の活性化及び市内企業への就職を促進する。具体的には、尼崎市内の企業(中小・大手の事業者等)を複数社組み合わせた職場体験イベントを実施する。</p> <p>【実施時期】令和7年8～9月(大学夏季休暇期間)</p> <p>【対象】2027年卒業予定の大学生・短大生・高専生等(左記主体、全学年参加可能)</p> <p>【目標人数】5社15名以上の参加(1社1人～5人の参加目途)</p> <p>【内容】市内企業3社を1コース(1社半日～1日程度)とし、各事業所の業務内容や業界説明、工場見学等も取り入れた職場体験を行う。</p> <p>【事業委託内容】 (1)参加学生募集の広報活動 チラシの作成やインターネットを利用した情報発信など (2)参加学生の選考・管理 申込書を作成の上、目標人数の参加学生確保に努め、必要に応じて尼崎市と協議の上、選考を実施。参加学生に職場体験や傷害保険に関する案内、質疑応答等 (3)職場体験同行、アンケート集計、報告書等作成</p> <p>【スケジュール】 ・5月下旬：学生募集開始 ・7月上旬：学生募集締切、学生選考 ・8～9月：職場体験(実施日は上記期間中の1.5～2日間(コース別日程調整中)) ・9月～10月：アンケート集計、報告書作成、アマポータル掲載</p>			<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 大学生等向けオープンカンパニー(インターンシップ等推進事業)】</p> <p>【活動内容】 下記5社にて半日～1日のオープンカンパニーを実施 ○株式会社日興商会 ・実施日：8月20日(水) ・参加学生数：7名 ○株式会社タクマ ・実施日：8月27日(水) ・参加学生数：3名 ○株式会社三鷹倉庫 ・実施日：8月28日(木) ・参加学生数：2名 ○日本山村硝子株式会社 ・実施日：9月5日(金) ・参加学生数：3名 ○株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎 ・実施日：9月11日(木) ・参加学生数：7名</p> <p>延べ参加学生数：22名、9大学等</p> <p>オープンカンパニー実施後、アンケート集計 アマポータルに掲載 https://amaportal.jp/news_detail.php?n=193&k=0</p> <p>【自己評価】 学生は会社説明だけでなく、実務の体験や社員との対話を通じて企業理解を深め、企業側も若者の価値観に触れることで採用や地域貢献の新たな視点を獲得することができた。参加満足度は高く(5点満点中「5点」評価が最多(19人/22人))、交流の質も充実していたといえる。一方で、参加学生募集に苦戦するなど、同様の方法での今後の事業継続に関しては、検討が必要と考える。今度、大学コンソの枠組みを利用して、大学・行政・企業と連携し、学生の変化に対応した柔軟な設計を追求しながら、地域と若者をつなぐ持続可能な仕組みづくりを進める必要がある。</p>			<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 大学生等向けオープンカンパニー(インターンシップ等推進事業)】</p> <p>【活動内容】 下記5社にて半日～1日のオープンカンパニーを実施 ○株式会社日興商会 ・実施日：8月20日(水) ・参加学生数：7名 ○株式会社タクマ ・実施日：8月27日(水) ・参加学生数：3名 ○株式会社三鷹倉庫 ・実施日：8月28日(木) ・参加学生数：2名 ○日本山村硝子株式会社 ・実施日：9月5日(金) ・参加学生数：3名 ○株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎 ・実施日：9月11日(木) ・参加学生数：7名</p> <p>延べ参加学生数：22名、9大学等</p> <p>オープンカンパニー実施後、アンケート集計 アマポータルに掲載 https://amaportal.jp/news_detail.php?n=193&k=0</p> <p>【報告】 学生は会社説明だけでなく、実務の体験や社員との対話を通じて企業理解を深め、企業側も若者の価値観に触れることで採用や地域貢献の新たな視点を獲得することができた。参加満足度は高く(5点満点中「5点」評価が最多(19人/22人))、交流の質も充実していたといえる。一方で、参加学生募集に苦戦するなど、同様の方法での今後の事業継続に関しては、検討が必要と考える。今度、大学コンソの枠組みを利用して、大学・行政・企業と連携し、学生の変化に対応した柔軟な設計を追求しながら、地域と若者をつなぐ持続可能な仕組みづくりを進める必要がある。</p>				
<p>達成目標に対する実績(取組1-1,2,3合算) 【達成目標】①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 ②参加者数：2500名以上/5年 [内訳]学生数2250名以上/5年、教職員数250名/5年</p>			<p>①96% ②参加者数2,468名：学生1,860名・教職員608名/4年 (取組1-1,2,3合算)</p>			<p>①96% ②参加者数2,669名：学生2,004名・教職員665名/4年 (取組1-1,2,3合算)</p>				
<p>活動指標に対する実績(取組1-1,2,3合算) 【活動指標】①各年参加者数450名以上 [内訳]学生数400名以上 教職員数50名以上</p>			<p>参加者数335名：学生242名・教職員93名(取組1-1,2,3合算) [参加者数22名：学生22名・教職員0名(取組1-3のみ)]</p>			<p>参加者数536名：学生386名・教職員150名(取組1-1,2,3合算) [参加者数22名：学生22名・教職員0名(取組1-3のみ)]</p>				
自己評価基準：対到達目標※			3			-				
自己評価基準：対継続性※			2			-				
事業収支	収入	1,339,000円	支出	1,339,000円	収支	0円	支出	1,339,000円	収支	0円

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)

本取り組みは、地元志向の強い学生や、選考を伴い且つ拘束期間の長いインターンシップ等への参加が困難な課外活動や研究活動を行っている学生に対し、気軽に企業と深い交流ができ、合理的な就職活動の機会を提供した点は評価できる。また、企業からも、学生の志向を理解し、自社の魅力をより丁寧に伝える機会としての評価は高かった。一方で、地域や業種が限定的であることから、コンソの枠組みでは参加学生の確保が困難という課題が明らかになった。今後は、このように多様かつ限定的な学生や自治体のニーズに注視しつつ、別の形で応えていくことを検討・推進することを期待する。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った	3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要	3：本プログラムは継続しても良い 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--------------------------------	--------------------------	--------------	--------------------------------------	------------------------------------

【2025年度 キャリア委員会 (①取組2)】 県内企業・団体等の魅力を情報発信

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)				
<p>「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開</p> <p>【現在の企業情報の掲載内容】兵庫県内企業153社掲載中（2025年3月時点） (1)コンソHPから企業HPへのリンク掲載 業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報</p> <p>(2)コンソHP上の一覧表示 ・留学生採用の有無 ・求める日本語力 ・ミモザ企業 ・地域未来牽引企業 ・兵庫県奨学金返還制度利用企業 ・WLB表彰企業 ・WLB認定企業</p> <p>【取組内容】 掲載企業情報の内容を充実するため、(2)の一覧表示の掲載情報を追加する。</p> <p>【スケジュール】 掲載情報の追加内容を確定（8月頃）、 本年度版「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」（12月）に反映する</p> <p>【追加情報案】 ・くるみんマーク（子育てサポート企業） ・ひょうごオンリーワン企業 ・ユースエール認定企業 ・その他</p> <p>【掲載ページ】地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト https://consortium-hyogo.jp/kigyojoho/company.html</p> 			<p>「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開</p> <p>【現在の企業情報の掲載内容】兵庫県内企業153社掲載中（2025年12月時点） (1)コンソHPから企業HPへのリンク掲載 業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報</p> <p>(2)コンソHP上の一覧表示 ・留学生採用の有無 ・求める日本語力 ・ミモザ企業 ・地域未来牽引企業 ・兵庫県奨学金返還制度利用企業 ・WLB表彰企業 ・WLB認定企業</p> <p>【取組内容】 掲載企業情報の内容を充実するため、(2)の一覧表示の掲載情報を追加する。</p> <p>【追加情報】（案） ・くるみんマーク（子育てサポート企業） ・ユースエール認定企業</p> <p>【掲載ページ】地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト https://consortium-hyogo.jp/kigyojoho/company.html</p> 			<p>「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開</p> <p>掲載企業情報の内容を充実するため、2026年度は「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」の「一覧から探す」の項目に、以下2件を追加する。</p> <p>1. 「くるみん認定企業」 「子育てサポート企業」として、仕事と子育ての両立を図るための雇用環境整備等について行動計画を策定し、行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした事業主は申請を行うことにより、厚生労働大臣（労働局長へ委任）の認定（くるみん認定）を受けることができる。 認定を受けた企業は、次世代認定マーク（愛称:くるみん）を広告や商品、名刺等につけることができる。</p> <p>2. 「ユースエール認定企業」 若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度である。 認定を受けた企業のことを、ユースエール認定企業といい、2024年9月末現在、1329社のさまざまな業種の企業がユースエール認定企業として認められている。</p> <p>【掲載ページ】地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト https://consortium-hyogo.jp/kigyojoho/company.html</p> <p>【報告】</p> <p>達成目標、活動指標ともに達成した。2025年度は、「くるみんマーク」「ユースエール認定企業」を掲載した。今後も、キャリア委員と協力しながら、学生と県内優良企業をつないでいく取組を充実させていきたい。</p>				
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】情報公開企業・団体数：120社以上</p>			153社			153社				
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】企業情報の追加掲載 2種類以上</p>			追加情報掲載2種類（12月中に掲載予定）			追加情報掲載2種類				
自己評価基準：対到達目標※			4			-				
自己評価基準：対継続性※			4			-				
事業収支	収入	0円	支出	0円	収支	0円	支出	0円	収支	0円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

ワーク・ライフ・バランスや待遇の向上が重視される現在の状況において、子育てサポート企業やユースエール認定企業などの客観的な指標や情報を一元化して明確に示すことは、現在の学生が重視する企業の待遇や環境を比較検討する手助けとなり、キャリア支援担当者による指導の一助としても極めて有用であると評価する。これにより、学生の企業研究の質を向上させ、適切なマッチングを促進する意義深い取り組みである。今後は、掲載されている優良企業や制度の情報を、より多くの学生層（例：低学年層）に対して、どのように効果的に周知徹底し、利用を促していくかという戦略的な展開を期待する。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 キャリア委員会 (④取組1-1①)】ひょうご留学生インターンシップ

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)				
<p>(1)【ひょうご留学生インターンシップ】 【趣旨】個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。</p> <p>【プログラムスケジュール】 ・インターンシップ説明会(オンライン) 4月21日(月) ※4月22日～5月25日までオンデマンド配信 ・受け入れ企業説明会(オンライン) 5月22日(木) ・エントリー学生ガイダンス 6月3日(火) ・エントリー学生と企業の交流会 6月7日(土) ・実習先への事前訪問 7月～8月頃 ・企業・団体実習期間 8月～9月頃 ・報告会・修了交流会 9月20日(土)</p> <p>【追記】国際交流委員会における留学生定着支援の取組の1つとして、英語トラック留学生も当プログラムに参加予定。プログラム進行、留学生支援等、国際交流委員会と連携して実施する。</p> <p>※インターンシップ番外編 『国際交流機関 職場体験リレー』(国際交流委員会と連携協働事業) 【趣旨】国際交流や協力機関での就職を希望する学生等を対象に、各機関リレー形式で、職場体験を留学生と日本人学生がペアになって実施する。学生の業界研究、就職促進及び海外留学の機運醸成、また、多国籍チームで実施することによる、価値観が違う者同士が協働して成果を出す方法を考える機会等を提供する。</p> <p>【受入予定機関】JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸、コンソ</p> <p>【受入時期】8月～9月、各機関1～2日で合計5日以上</p> <p>【実施背景】当コンソ、JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸との4者協定に伴う連携事業の1つとして</p>			<p>(1)【ひょうご留学生インターンシップ】 【活動内容】 ・インターンシップ説明会(オンライン) 4月21日 参加学生数：10校28名 ・受け入れ企業説明会(オンライン) 5月22日 参加企業数：20社29名 参加行政数：1行政2名 参加(一般)：1名 ・エントリー学生ガイダンス 6月3日 参加学生数：15校127名 参加企業数：1社2名 ・エントリー学生と企業の交流会 6月7日 参加学生数：14校118名 参加企業数：20社41名 参加教職員数：8校8名 参加行政数：1行政2名 ・企業・団体でのインターンシップ 8月～9月 参加学生数：13大学83名 参加企業数：28社 参加団体数：1団体 ・インターンシップ報告会 9月20日 参加学生数：10校58名 参加企業数：19社29名 参加教職員数：8校9名 参加行政・団体数：1行政2名、1団体2名 ※インターンシップ番外編 『国際交流機関 職場体験リレー』(国際交流委員会と連携協働事業) 実施期間：2025年8月25日～9月5日・各機関1～2日 受入機関：JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸、コンソ 参加学生数：3校6名 参加職員数：4機関4名 受入機関4社協定に伴う連携事業の一つとして実施。参加者がインターンシップをすることにより国際協力や多文化共生に興味を持ち、各国際交流機関への理解を深めた。 2025年6月25日【留学生向け合同企業説明会】 主催 神戸市・兵庫県 参加学生数：留学生15校155名</p> <p>【自己評価】 ひょうご留学生インターンシップでは、16年で663名の修了生を輩出し、その6割以上が日本で就職するなど日本での就職を希望する留学生にとって意義のある事業となっている。受入企業からは高い評価を得、参加した留学生の意識の向上も認められるなど、当初期待以上の効果を上げることができた。参加留学生からは、「日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合100%」と留学生の日本での就職に好影響を及ぼしていることが分かる。次年度も加盟大学の理解と協力を得て、連携をさらに深めながらプログラム推進に励みたい。</p>			<p>(1)【ひょうご留学生インターンシップ】 【活動内容】 ・インターンシップ説明会(オンライン) 4月21日 参加学生数：11校28名 ・受け入れ企業説明会(オンライン) 5月22日 参加企業数：20社29名 参加行政数：1行政2名 参加(一般)：1名 ・エントリー学生ガイダンス 6月3日 参加学生数：15校127名 参加企業数：1社2名 ・エントリー学生と企業の交流会 6月7日 参加学生数：14校118名 参加企業数：20社41名 参加教職員数：8校8名 参加行政数：1行政2名 ・企業・団体でのインターンシップ 8月～9月 参加学生数：13大学83名 参加企業数：28社 参加団体数：1団体 ・インターンシップ報告会 9月20日 参加学生数：10校58名 参加企業数：19社29名 参加教職員数：9校9名 参加行政・団体数：1行政2名、1団体2名 ※インターンシップ番外編 『国際交流機関 職場体験リレー』(国際交流委員会と連携協働事業) 実施期間：2025年8月25日～9月5日・各機関1～2日 受入機関：JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸、コンソ 参加学生数：3校6名 参加職員数：4機関4名 受入機関4社協定に伴う連携事業の一つとして実施。参加者がインターンシップをすることにより国際協力や多文化共生に興味を持ち、各国際交流機関への理解を深めた。 2025年6月25日【留学生向け合同企業説明会】 主催 神戸市・兵庫県 参加学生数：留学生15校155名</p> <p>【報告】 2025年度の「ひょうご留学生インターンシップ」は、13大学から83名の留学生が参加し、28社から協力を得た。留学生向け合同企業説明会にも、留学生155名が参加し、関心の高さがうかがえた。今後も日本企業で就職を希望する留学生を支えていきたい。インターンシップの番外編「国際交流機関 職場体験リレー」では、日本人と外国人がグループワークを通して、国際交流機関で働くことのイメージを体験できた他、参加機関が大学生と接する貴重な機会にもなった。</p>				
<p>達成目標に対する実績 (④取組1-1①, ②合算) 【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 ②参加留学生数：2500名以上/5年</p>			<p>①100% ②参加留学生数3,519名/4年 (④取組1-1①, ②合算)</p>			<p>①100% ②参加留学生数3,519名/4年 (④取組1-1①, ②合算)</p>				
<p>活動指標に対する実績 (④取組1-1①, ②合算) 【活動指標】 各年参加留学生数500名以上</p>			<p>575名/年 (④取組1-1①, ②合算) [559名(④取組1-1①のみ)]</p>			<p>575名/年 (④取組1-1①, ②合算) [559名(④取組1-1①のみ)]</p>				
自己評価基準：対到達目標※			4			—				
自己評価基準：対継続性※			4			—				
事業収支	収入	1,600,000円	支出	1,175,443円	収支	424,557円	支出	1,411,453円	収支	188,547円

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)

留学生83名が参加の「ひょうご留学生インターンシップ」や、日本人学生と外国人留学生が参加した「国際交流機関リレーインターンシップ」により、多国籍環境下での就業体験を提供した点は評価できる。一方で、県内での留学生の就職者数が増加する中、早期離職が課題となっている。留学生が自身のアイデンティティを活かした就職・定着を目指すこと、また、外国人の職場定着に貢献できる日本人学生を育成することも視野に入れた事業展開を期待したい。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 キャリア委員会 (④取組1-1②)】「尼崎市」留学生向けインターンシップ (インターンシップ等推進事業)

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)				
<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 留学生向けインターンシップ (インターンシップ等推進事業)】</p> <p>【趣旨】 尼崎市内企業の事業活動の活性化及び市内企業への就職を促進する取組として、日本で就職を希望する外国人留学生に特化したインターンシップの機会を提供するとともに、企業に対し、留学生の能力や職業観、社内での多文化共生社会への理解を深める機会を提供することで、外国人材採用の機運を醸成する。</p> <p>【実施内容】 前頁④取組1-1(1)のひょうご留学生インターンシップの枠組みで同時開催する。</p> <p>【目標人数】 5社15名以上の参加 (1社1人~3人の参加目途)</p> <p>【プログラムスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ説明会 (オンライン) 4月21日 (月) ※4月22日~5月25日までオンデマンド配信 ・受け入れ企業説明会 (オンライン) 5月22日 (木) ・エントリー学生ガイダンス 6月3日 (火) ・エントリー学生と企業の交流会 6月7日 (土) ・実習先への事前訪問 7月~8月頃 ・企業・団体実習期間 8月~9月頃 ・報告会・修了交流会 9月20日 (土) <p>(+以下が尼崎市の独自取組となる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマポータルへ活動記事掲載 10月頃 			<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 留学生向けインターンシップ (インターンシップ等推進事業)】</p> <p>【活動内容】 詳細は、前頁の (④取組1-1①) ひょうご留学生インターンシップをご参照。 (同枠組み内で実施しているため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加学生数: 5校16名 ・参加企業数: 6社 <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○株式会社eftax ・参加学生数: 4名 ○株式会社大林 ・参加学生数: 1名 ○大和建工材株式会社 ・参加学生数: 3名 ○株式会社フジ・データ・システム ・参加学生数: 3名 ○株式会社ヤマシタワークス ・参加学生数: 3名 ○山村ロジスティクス株式会社 ・参加学生数: 2名 <p>【自己評価】 留学生は実務体験を通じて日本企業への理解を深め、企業は多様な人材との交流から新たな気づきを得ることができた。尼崎市という生活・通勤の利便性に優れた地域での実習は、留学生にとっても働く・生活するイメージを具体化する好機となった。尼崎市内企業と外国人留学生の出会いを通じて、地域における人材定着と企業の国際化を促進する有意義な取り組みであった。今後も、企業の受け入れ体制支援や異文化理解の促進をするとともに、大学・行政・企業が連携して、兵庫県内各地域の特徴も加味し、各地域に根ざした持続可能な人材定着という観点も加えた取組としていきたい。</p>			<p>【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業 留学生向けインターンシップ (インターンシップ等推進事業)】</p> <p>【活動内容】 詳細は、前頁の (④取組1-1①) ひょうご留学生インターンシップをご参照。 (同枠組み内で実施しているため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加学生数: 5校16名 ・参加企業数: 6社 <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○株式会社eftax ・参加学生数: 4名 ○株式会社大林 ・参加学生数: 1名 ○大和建工材株式会社 ・参加学生数: 3名 ○株式会社フジ・データ・システム ・参加学生数: 3名 ○株式会社ヤマシタワークス ・参加学生数: 3名 ○山村ロジスティクス株式会社 ・参加学生数: 2名 <p>留学生向けインターンシップ実施後、アンケート集計 アマポータルに掲載 https://amaportal.jp/news_detail.php?n=193&k=0</p> <p>【報告】 本年度のひょうご留学生インターンシップにおいて、尼崎市内の企業6社のご協力のもと、外国人留学生の受け入れを実施した。実習を通じて、留学生は日本のビジネスマナーや現場での実践的なスキルを学ぶとともに、受け入れ企業側にとっても、高度外国人材の活用や学内文化の理解を深める貴重な機会となった。地域産業の活性化と、留学生の県内定着に向けた一歩として、非常に有意義な取り組みとなった。</p>				
<p>達成目標に対する実績 (④取組1-1①, ②合算)</p> <p>【達成目標】 ①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合: 参加学生の70%以上 ②参加留学生数: 2500名以上/5年</p>			<p>①100% ②参加留学生数3,519名/4年 (④取組1-1①, ②合算)</p>			<p>①100% ②参加留学生数3,519名/4年 (④取組1-1①, ②合算)</p>				
<p>活動指標に対する実績 (④取組1-1①, ②合算)</p> <p>【活動指標】 各年参加留学生数500名以上</p>			<p>575名/年 (④取組1-1①, ②合算) [16名(④取組1-1②のみ)]</p>			<p>575名/年 (④取組1-1①, ②合算) [16名(④取組1-1②のみ)]</p>				
自己評価基準: 対到達目標※			4			-				
自己評価基準: 対継続性※			4			-				
事業収支	収入	1,411,000円	支出	1,411,000円	収支	0円	支出	1,411,000円	収支	0円

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)

ひょうご留学生インターンシップの枠組みを活用し、行政のみでは実施が困難な尼崎市内企業に留学生をアレンジ、同市内企業における留学生採用への機運を高めた点は評価できる。同時に、尼崎市にコンソの17年間継続のノウハウとその継続性や実績を印象づけ、コンソとの連携の価値を示すことができた点も意義深い。
今後も、他の自治体との連携においても活用できるよう、創意工夫を重ねながら実施していくことを期待する。

<p>※自己評価基準: 対到達目標</p> <p>4: 当初計画を上回って達成 3: 当初計画を達成 2: 当初計画をやや下回った 1: 当初計画を下回った</p>	<p>※自己評価基準: 対継続性</p> <p>4: 本プログラムは継続すべき 3: 本プログラムは継続しても良い 2: 本プログラムの継続には改善が必要 1: 本プログラムは中止すべき</p>
--	---

【2025年度 キャリア委員会 (④取組1-2)】「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)				
<p>【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業 「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】</p> <p>【事業内容】 (1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置 ①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を[対面・オンライン・メール・電話等]により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。 ア:窓口相談の対象者 a 留学生(既卒の就職者を含む。) b 留学生の採用を検討している企業及び留学生を採用した企業 イ:相談内容 a 留学生の国内就職に関する相談及び県内企業による採用・人材活用に関する相談対応 b 留学生向け合同企業説明会やインターンシップ等の紹介 ②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。 ア:対象 留学生採用検討の企業、留学生採用中の企業 イ:内容 a 留学生の採用・人材活用に係る専門的な内容に対する面談または電話での相談対応 b 留学生の受入体制整備等に向けた相談企業へ専門家派遣 (2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 留学生の採用や入社後の人材活用にに向けた企業向け啓発セミナーを実施することにより、県内企業における人材確保を促進する。また、セミナーの内容をアーカイブ配信し、県内企業への効果的な啓発を実施する。 ①対象 留学生の採用を検討している県内企業 ②回数 年1回 ③内容 留学生に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援事業紹介 (3)情報収集 留学生の就職に関する各種情報の収集に努めるとともに、県内企業による相談窓口活用を促す。</p> <p>【業務体制】 (1)相談窓口には相談員を1名配置する。 (2)相談員は外国人留学生のキャリアアップ支援等に従事した経験があり、企業・外国人留学生の双方への相談対応が可能な人材 (3)相談窓口の開所時間は、月・水・金曜日の9:00～16:00(年末年始、祝日除く)</p>			<p>【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業 「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】</p> <p>【活動内容】 (1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置 ①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を[対面・オンライン・メール・電話等]により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。 ・参加留学生:92名 160件 ・参加企業 :73社 94件 ②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。 ・専門家派遣利用者:2社2件 (2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 留学生の採用や入社後の人材活用にに向けた企業向け啓発セミナーを実施することにより、県内企業における人材確保を促進する。また、セミナーの内容をアーカイブ配信し、県内企業への効果的な啓発を実施する。 ①対象 留学生の採用を検討している県内企業 ②実施日時 2月16日(月)予定 ③内容 外国人採用に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援事業紹介</p> <p>【業務体制】 相談窓口相談員を1名配置</p> <p>【自己評価】 外国人留学生と県内企業双方への相談対応を通じて、就職支援と採用促進の橋渡しを行うことができた。大学キャリアセンターでは対応が難しい在留資格や文化的配慮を要する相談や4年生、卒業後の留学生の相談にも応じ、各大学の支援体制を補完する役割を果たした。さらに、入管・ハローワーク・日本語教育機関等との連携も深まり、留学生支援のネットワーク強化にもつながった。今後も多機関連携を基盤に、留学生の定着と企業の人材確保に資する支援体制の充実を図っていきたいと考える。</p>			<p>【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業 「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】</p> <p>【活動内容】 (1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置 ①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を[対面・オンライン・メール・電話等]により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。 ・参加留学生:175名 相談:280件 ・参加企業 :127社 相談:148件 ②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。 ・専門家派遣利用者:2社2件 (2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 「はじめの一步セミナー～外国人材採用が企業の未来を救う～」 ①参加者数:合計147名(大学、、企業、行政) ・大学等教職員:加盟校10校11名、非加盟校4校4名 合計14校15名 ・企業・団体:60社・14団体・1個人111名 ・行政:9自治体21名 ②開催日時 2月16日(月) 13:00～14:20 ③内容 外国人採用に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援事業紹介 基調講演 外国人雇用の基礎知識 これを知ってる企業は上手くいく?! 日本人の採用との違いを徹底説明 ～入管法から社内制度まで～ (講師)弁護士法人Global HR Strategy 代表弁護士/社会保険労務士 杉田 昌平 氏 企業事例紹介 外国人材がつなぐ丹波と世界 ― 自社の強みを活かした外国人材活躍事例 (講師)株式会社西山酒造場(丹波市) 取締役女将 西山 桃子 氏 多様性から始まった外国人採用 ― 受け入れの進化と人材確保への好循環 (講師)日工株式会社(明石市) 人事課長 松山 さつき 氏 クルブ カーヴィヤ 氏</p> <p>【業務体制】 相談窓口相談員を1名配置</p> <p>【報告】 外国人留学生と県内企業双方への相談対応を通じて、就職支援と採用促進の橋渡しを行ってきた。大学では対応が難しい在留資格や文化的配慮を要する相談、4年生・卒業後の留学生にも継続して応じ、各大学の支援を補完した。入管・ハローワーク・日本語教育機関など多様な関係者との連携も進み、県内の留学生や企業が相談できる場としての認知も広がった。今後もコンソの強みを活かした多機関連携を基盤に、留学生が兵庫で学び・働き続けられる環境づくりを一層充実させていく。</p>				
<p>達成目標に対する実績 ①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上 ②参加留学生数:250名以上/5年</p>			<p>①97%②355名/4年(11月30日現在)</p>			<p>①95%②438名/4年</p>				
<p>活動指標に対する実績 各年参加留学生数:50名以上</p>			<p>92名(11月30日現在)</p>			<p>175名</p>				
<p>自己評価基準:対到達目標※</p>			<p>4</p>			<p>—</p>				
<p>自己評価基準:対継続性※</p>			<p>4</p>			<p>—</p>				
事業収支	収入	6,291,000円	支出	2,981,042円	収支	3,309,958円	支出	6,291,000円	収支	0円

理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)

同窓口開設から3年目を迎え、キャリアセンターと連携しながら、留学生インターンシップ参加学生への継続的な支援をはじめ、多様な留学生の就職支援を実施し、県内就職を希望する留学生を取りこぼすことなく対応してきた点は評価できる。また、コンソとして、兵庫県をはじめ、留学生就職に関わる関係機関(商工会議所、大阪出入国在留管理局神戸支局、労働局、JICA関西、JETRO神戸、兵庫国際交流協会、県行政書士会、日本語学校等)との連携や、国際交流委員会事業との協働が進展したことは意義深い。今後も、これら関係機関との連携をさらに強化し、本事業にとどまらず、他の事業領域にも効果が波及するような取り組みの推進を期待する。

<p>※自己評価基準:対到達目標</p>	<p>4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った</p>	<p>※自己評価基準:対継続性</p>	<p>4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき</p>
----------------------	--	---------------------	--

【2025年度 キャリア委員会 事業決算】

(単位：円)

	予算	決算	各取組 予算・決算															委員会 予算・決算			
			課題①						課題④												
			取組1-1 「兵庫県」 大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進 プロジェクト			取組1-3 「尼崎市」 大学生等向け オープンカンパニー			取組1-1(1) 留学生向け就職支援・ キャリア教育プログラム			取組1-1(2) 「尼崎市」 外国人留学生向け インターンシップ			取組1-2 「兵庫県」 外国人留学生採用 ワンストップ支援事業						
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				内訳
収入	会費収入	1,700,000	1,700,000							1,600,000	1,600,000								100,000	100,000	
	助成事業収入	0	0																		
	受託事業収入	12,979,050	12,978,000	3,938,050	3,937,000		1,339,000	1,339,000					1,411,000	1,411,000			6,291,000	6,291,000			
	プログラム収入	0	0																		
	雑収入	0	0																		
	戻入金	0	0																		
	計	14,679,050	14,678,000	3,938,050	3,937,000		1,339,000	1,339,000		1,600,000	1,600,000		1,411,000	1,411,000			6,291,000	6,291,000		100,000	100,000
支出	会議費	0	48,898																情報交換会飲料等	48,898	
	旅費交通費	360,000	284,190	交通費	60,000	33,790	交通費	50,000	50,030	交通費	9,270	交通費	50,000	49,816	交通費	200,000	133,350	交通費	7,934		
	通信運搬費	630,000	974,741	通信費・送料等	30,000	125,388	通信費・送料等	200,000	150,554	通信費・送料等	122,972	通信費・送料等	200,000	198,831	通信費・送料等	200,000	374,796	通信費・送料等	2,200		
	消耗品費	381,000	799,289	事務用品	100,000	118,563	事務用品	100,000	69,237	事務用品	122,118	事務用品	61,000	56,913	事務用品	120,000	432,458	事務用品			
	新聞図書費	0	0																		
	印刷製本費	400,000	630,114	パンフレット	100,000	161,278	資料	30,000	32,631	資料	82,044				チラシ・資料	200,000	347,749	名刺	70,000	6,412	
	光熱水料費	0	0																		
	賃借料	938,000	380,655	貸室料	338,000	73,453	貸室料・複合機	25,603	貸室料	300,000	134,429				PC・複合機	300,000	141,010	貸室料	6,160		
	保険料	40,000	0				保険料	40,000													
	謝金	490,000	349,504	謝金	140,000	103,504			謝金	250,000	154,000				謝金	100,000	92,000				
	租税公課	55,000	2,600	収入印紙	10,000	600	収入印紙	5,000	1,000				収入印紙	1,000		10,000		収入印紙	30,000		
	支払手数料	20,000	17,175	振込手数料	10,000	4,855	振込手数料			振込手数料	5,170	振込手数料			振込手数料	10,000	6,325	振込手数料	825		
	諸会費	45,000	50,000	会費	45,000	50,000															
	委託費	1,650,000	737,867						HP保守・研修	650,000	321,850				専門家・Instagram運用	1,000,000	416,017				
	人件費	9,670,050	10,186,849	人件費	3,105,050	3,265,569	人件費	914,000	1,009,945	人件費	400,000	459,600	人件費	1,100,000	1,104,440	人件費	4,151,000	4,347,295			
	接待交際費	0	0																		
	支払支援金	0	0																		
	雑費	0	0																		
	計	14,679,050	14,461,882	3,938,050	3,937,000		1,339,000	1,339,000		1,600,000	1,411,453		1,411,000	1,411,000			6,291,000	6,291,000		100,000	72,429

※差額1,050円
予算時は概算での
計上のため

※①取組1-2、①取組2、については記載していません。

収入－支出	217,168
-------	---------